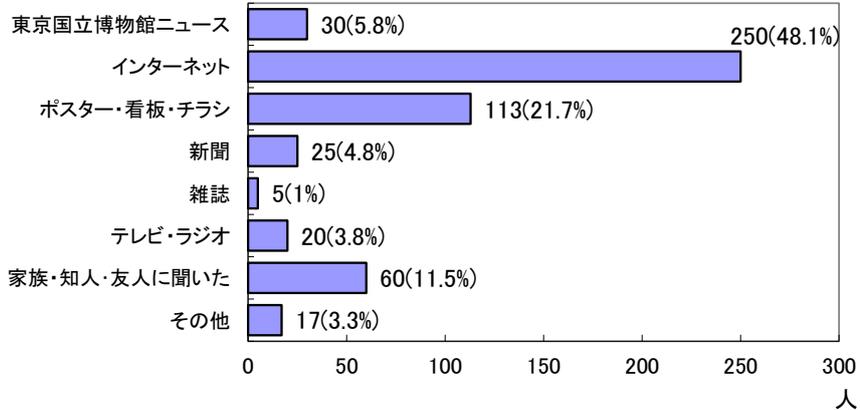
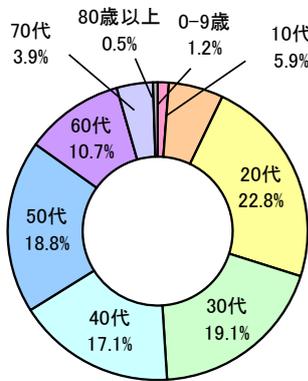


特別展「古代メキシコ –マヤ、アステカ、テオティワカン」

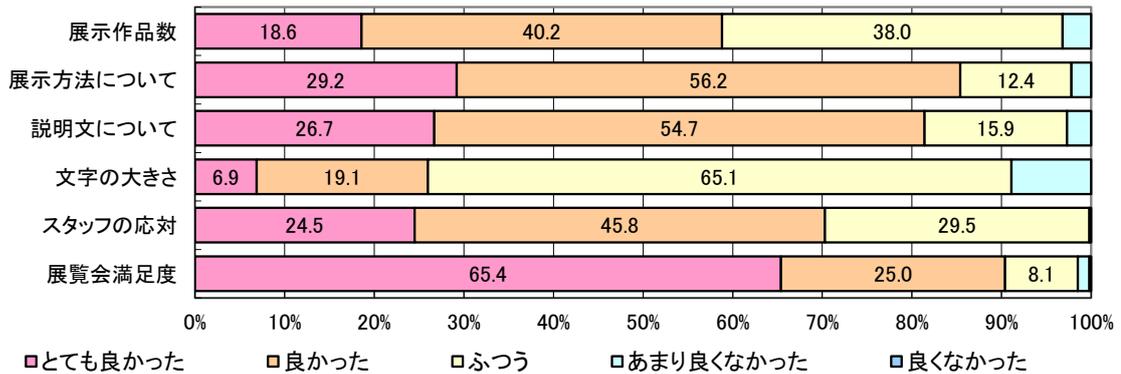
アンケート集計結果

開催期間：令和5年6月16日（金）～9月3日（日） 70日間
 総入館者数：330,013人
 回答者数：597人

①アンケート回答年齢層 ②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・展示空間を広く活用し、見やすかった
- ・臨場感があって圧倒された、前後座右から見られて良かった
- ・赤の女王の展示が現地で見ているようでよかった
- ・音声ガイドがよかった
- ・撮影できるのはありがたい
- ・もっとメキシコについて知りたくなった
- <不評・要望>
- ・撮影者が邪魔で作品を見られない
- ・撮影のシャッター音が多く集中できない
- ・滞留が発生した際に観覧者を整理してほしい
- ・展示室が寒い

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	3.2	0.0
展示方法	2.2	0.0
説明文	2.7	0.0
文字サイズ	8.9	0.0
スタッフの対応	0.2	0.0
展覧会の満足度	1.3	0.2

(%)

本展では「マヤ」「アステカ」「テオティワカン」というメキシコを代表する3つの文明に焦点をあて、普遍的な神と自然への祈り、そして多様な環境から生み出された独自の世界観と造形美を通じて、古代メキシコ文明の奥深さと魅力に迫りました。

本アンケートの回答者のうち90.4%の方から「とても良かった」「良かった」とのご感想をいただきました。夏休み期間ということもあって、他の当館特別展と比べ若いお客様や家族連れ、本展で初めて当館を訪れる方も多く見受けられました。また、本展のみを観覧し帰られるお客様の割合が他の特別展の平均よりも10%程度高いことから、特別展の観覧を目的とした方々を総合文化展に案内することが、引き続き課題となっています。

全体的に展示スペースを広く活用したこと、360度から観覧できる作品が多かったこと、そして特に「赤の女王」やピラミッド関連の展示が好評でした。没入感・臨場感のある空間に作品を置いたことで、実際に観たような気分を味わえてよかったと多くのご意見が寄せられました。また全作品を撮影可能にしたことは、概ね好意的に受け入れられましたが、撮影者による滞留で一部の作品が見られなかった、シャッター音が気になり観覧に集中できなかったのご意見も寄せられました。

今回のアンケート結果や頂いたご意見を参考に、引き続き観覧環境の向上に努めてまいります。